

# 2014年3月期第3四半期 決算概要



- (注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。  
(例：2014年3月期は「2013年度」と表記)
- 資料内の「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。

売上高は2010年度第3四半期以降、4年連続の増収  
2011年度第3四半期以降、3年連続の経常損失および四半期純損失

## ■ 連結

(億円, %)

	2013/3Q (A)	2012/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	20,537	19,601	936	4.8
営業損益	△ 245	217	△ 462	—
経常損益	△ 467	△ 39	△ 428	—
四半期純損益	△ 315	△ 22	△ 292	—

## ■ 個別

(億円, %)

	2013/3Q (A)	2012/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	19,182	18,533	648	3.5
営業損益	△ 366	124	△ 491	—
経常損益	△ 563	△ 87	△ 476	—
四半期純損益	△ 352	△ 37	△ 314	—

## ■ 主要諸元

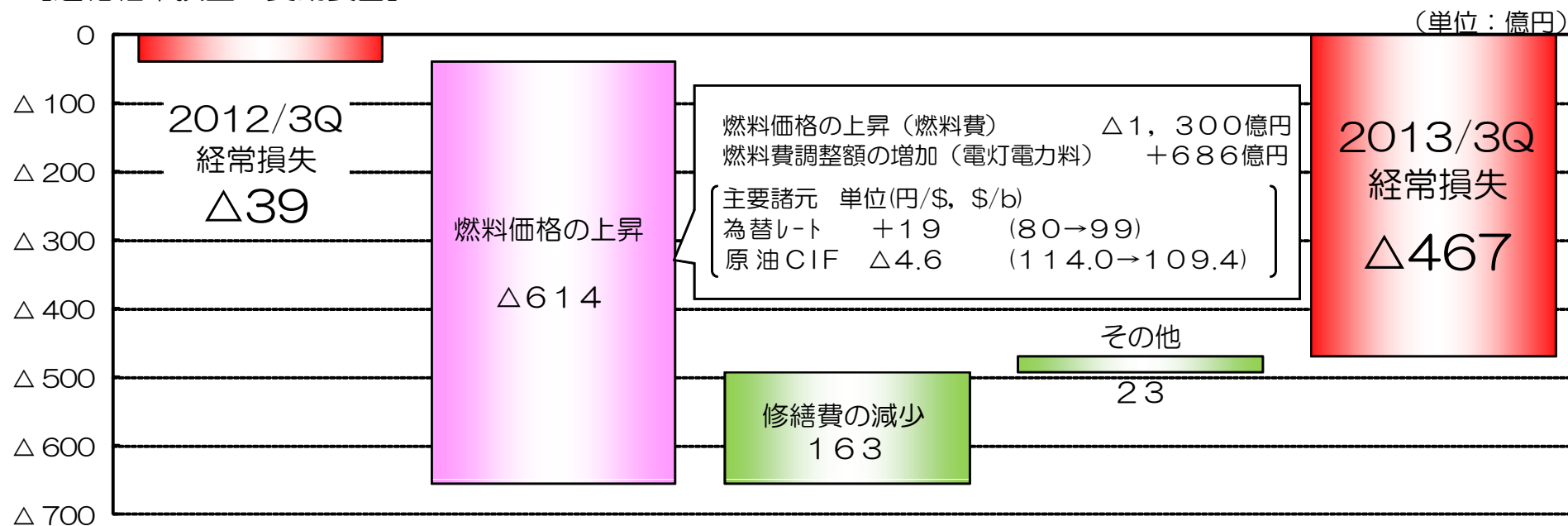
項目		2013/3Q (A)	2012/3Q (B)	増減 (A-B)
販売電力量	(億kWh)	931	933	△ 2
原油CIF価格	(\$/b)	109.4	114.0	△ 4.6
為替レート(イタ-バツ)	(円/\$)	99	80	19

※ 2013年度第3四半期の原油CIF価格は速報値

## ＜前年同期比較 連結経常損益の主な変動要因＞

- 収支向上要因
  - ・ 修繕費の減少 +163億円
- 収支悪化要因
  - ・ 燃料価格の上昇 △614億円

【連結経常損益の変動要因】



## ■販売電力量

(億kWh, %)

		2013/3Q	2012/3Q	増減	
		(A)	(A)	(A-B)	(A-B)/B
規制対象 需要	電灯	242	245	△ 3	△ 1.5
	電力	43	45	△ 2	△ 3.1
	計	285	290	△ 5	△ 1.7
自由化対象 需要	業務用	167	166	1	0.1
	産業用他	479	477	2	0.4
	計	646	643	3	0.4
合計		931	933	△ 2	△ 0.3

## ■発電電力量

(億kWh, %)

		2013/3Q	2012/3Q	増減	
		(A)	(B)	(A-B)	(A-B)/B
自 社	水力 (出水率)	65 (94.8)	63 (91.9)	2 (2.9)	2.8
	火力	880	919	△ 39	△ 4.2
	原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
	新エネルギー	0	0	△ 0	△ 1.8
融通・他社受電		82	47	35	75.6
揚水用		△ 8	△ 10	2	△ 15.7
合計		1,019	1,019	△ 0	△ 0.0

# 2013年度 業績見通し概要

4

## ■ 連結

	(億円)		
	2013年度予想 今回公表 (A)	2013年度予想 10/29 公表 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	27,900	27,500	400
営業損益	△ 750	△ 650	△ 100
経常損益	△ 1,100	△ 1,000	△ 100
当期純損益	△ 750	△ 650	△ 100

## 【連結経常損益の主な変動要因】 (億円)

円安	△ 220
C I F 価格の低下	+ 50
その他（水力発電量の増 など）	+ 70
<hr/>	
経常損益への影響	△ 100

## ■ 個別

	(億円)		
	2013年度予想 今回公表 (A)	2013年度予想 10/29 公表 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	26,100	25,700	400
営業損益	△ 900	△ 800	△ 100
経常損益	△ 1,200	△ 1,100	△ 100
当期純損益	△ 800	△ 700	△ 100

## ■ 主要諸元

	(億円)			
	2013年度予想 今回公表	2013年度予想 10/29 公表	変動影響額	
販売電力量 (億kWh)	1,256 程度	1,256 程度	1%	30
原油C I F 価格 (\$/b)	110 程度	111 程度	1\$/b	90 ※1,2
為替レート(円/\$)	101 程度	98 程度	1円/\$	120 ※1

※1 燃料費に対する変動影響額を記載しています。なお、原油CIF価格および為替レートの変動については、平均燃料価格が変動する場合に燃料費調整制度が適用され、収入に反映されます。

※2 LNG価格は原油価格の影響を受けることから、影響度合いを考慮して算定しています。

# 2013年度 個別業績見通し (対 前期)

5

(億円)

	2013年度 予想 (A)	2012年度 実績 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	26,100	24,856	1,240程度
営業費用	27,000	25,145	1,850程度
営業損益	△ 900	△ 289	△610程度
経常損益	△ 1,200	△ 521	△680程度
当期純損益	△ 800	△ 353	△450程度

[経常損益の主な変動要因]

(億円)

販売電力量の減 (燃料費差引後)	△ 60
燃料価格の上昇 (燃料費調整額考慮後)	△ 520
その他	△ 100
<hr/>	
経常損益への影響	△ 680

## ■ 主要諸元

	2013年度 予想	2012年度 実績
販売電力量 (億kWh)	1,256程度	1,266
原油CIF価格 (\$/b)	110程度	113.9
為替レート(円/\$)	101程度	83
原子力利用率 (%)	—	—

2014年3月期の中間配当につきましては、厳しい経営状況などを総合的に勘案した結果、大変申し訳なく存じますが、見送らせていただきました。  
 また、期末配当につきましても、見送らせていただく予定です。

## ■配当の状況（個別）

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
2013年度	0円 (実績)	0円 (予想)	0円 (予想)
2012年度	25円	25円	50円

## 当資料取扱上のご注意

当資料に記載の将来の計画や見通し等は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。

これらの将来の計画や見通し等は、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向等により、実際の結果とは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

また、当資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。